



CaN International Group

各種セミナー・研修会開催のお知らせ

公認会計士協会東京会研修会

3月7日に日本公認会計士協会東京会海外在留会員ネットワークプロジェクトチーム主催の『「海外で働く」キャリアパスを考える研修会ー海外経験で広がる可能性ー』で、弊社の小田英毅がパネリストとして登壇しました。

前半は三者三様のキャリアを積んでいるパネリストと、海外に行く前、海外での経験、帰国後の現在と未来についてパネルディスカッション形式で議論を展開し、後半は3つの小グループに分かれて、参加者とフリーディスカッションを行いました。



研修には海外で働きたい方、海外勤務予定の方、海外勤務から帰国し今後のキャリアに悩まれている方等、さまざまな属性の方が参加し、後半のフリーディスカッションや研修後の懇親会でも活発に意見交換が行われました。昨今のオンライン会議ツールの浸透や円安も相まって、海外訪問・駐在の機会が少なくなりました。一方で、海外で直に得られる経験は何事にも代えがたく、弊社では国際業務・海外経験を積みたい若手会計士の成長を支援しています。

(ASEAN)訪日外客数調査

日本政府観光局(JNTO)は、2025年1月15日、2024年の訪日外客数(観光、ビジネス、駐在、留学などの目的で来日した外国人旅行者で、永住や乗員などの外国人を除く)の統計を公表しました([リンクはこちら](#))。

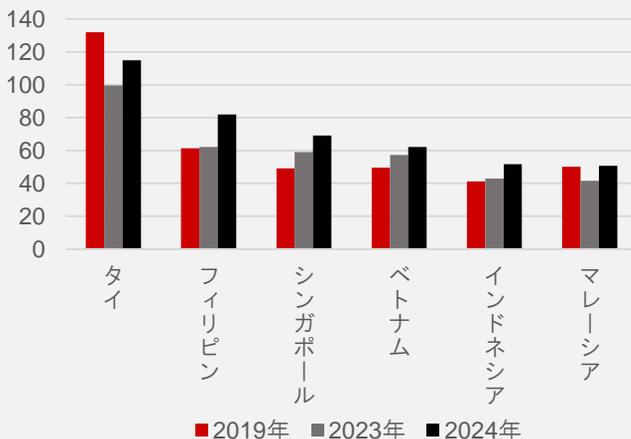
2024年のASEAN主要6か国からの訪日外客数は過去最高の約430万人となり、世界からの訪日外客数(約3,687万人)の11.7%を占め、JNTOが集計を開始した2003年(約44万人)と比べ約10倍に拡大しています。

国別では、タイ(約115万人)、フィリピン(約82万人)、シンガポール(約62万人)の順に多く、タイはコロナ禍の2020年以降初めて100万人を突破しました。

また、前年からの伸び率では、フィリピン(31.6%増)、マレーシア(21.9%増)、インドネシア(20.5%増)となっています。

アジアからの訪日外国人向けのマーケットもビジネスチャンスの拡大が見込まれます。

万人 ASEAN主要6か国の訪日外客数の推移



注 2024年は1~10月は暫定値、11~12月は推定値

(JNTO公表資料をもとにCaN Internationalが作成)